

セッション	テーマ	企画のねらい	対象者	領域	セッション言語
シンポジウム1	モダリティと創薬ユニットの2面から考える腎疾患創薬 - 令和の腎創薬はOne Teamを目指して -	腎における今後の新規モダリティテクノロジー、特に創設的な核酸医薬の展望を下記の記事から考査し、令和の創薬を創見する 腎における核酸医薬の展望 - アンチセンス、アプタマー、CpGオリゴ、siRNA、miRNA(mimic)、脂質結合オリゴの確立 - 腎におけるnew モダリティの展望 - 抗体、核酸、中分子医薬、ADC (抗体薬物複合体) の位置づけ - 腎における今後の知的財産や橋渡し研究に重要な新しいシーズと組織的枠組みの構築 作動薬・拮抗薬以外の核内受容体リガンド創製など 腎構成細胞特異的DDS (Drug Delivery System) を可能にする新規組み換え型アデノウイルスベクターとgene therapyへの応用 日本腎臓学会と日本腎臓協会とアカデミア・企業の疾患創薬ユニットとしてのプラットフォーム形成	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 基礎研究者)	基礎医学 (発生, 実験病理, 実験生理, 実験免疫)	指定なし
シンポジウム2	糸球体疾患に対する生物学的製剤の可能性と問題点 (副題: Current and Future Indications)	近年生物学的製剤、特にリツキシマブの使用機会がANCA関連疾患やネフローゼに対し増加し、一定の治療効果を上げているが、一方でPMLなど重篤な合併症のリスクも懸念される。そこで、生物学製剤の適切な適応について議論する必要があると考える。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 基礎研究者)	糸球体病変、間質病変	指定なし
シンポジウム3	ミトコンドリア UP TO DATE - ミトコンドリア腎症のすべてが分かるシンポジウム -	近年ミトコンドリア腎症が注目を集めており、また一部はコエンザイムQ10治療が有効する。本シンポジウムで病態、診断法、治療法およびミトコンドリアの解説、さらに現在開発中のMA-5に関するメカニズムのみならず開発の苦労話をお話しいただき、本シンポジウムへの参加によりミトコンドリア腎症がすべて理解できるようにする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: ミトコンドリア)	小児、遺伝性疾患、囊胞性疾患、泌尿器疾患	指定なし
シンポジウム4	AKI基礎研究の最前線 究極のアンメットニースへの挑戦	ブレクスルーの期待されているAKI基礎研究領域において、新たなメカニズムを明らかにしつつある研究者に、自身のデータに基づいたAKI病態解明について講演頂く。十分な時間を取って質疑応答が活発なシンポジウムにしたい。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 腎臓病)	AKI	・抄録・発表スライド: 英語 ・発表言語: 日本語
シンポジウム5	腎病理CME 系統的腎病理教育シリーズ: 内皮細胞障害を考える	腎生検病理診断の基礎教育を目的とした講習会「腎病理夏の学校」に続く、腎生検病理診断学の継続的な学習の機会を提供します。特徴的所見のきちんとした捉え方 (若手向き) に始まり、鑑別診断 (若手~中堅向き) - 典型例~関連する希少例の提示 (中堅~シニア向き) - 最近の知見 (全聴衆へ) へ発展することで、病態を系統的に理解し、会員の継続的なスキルアップにつなげる企画です。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ○ 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門医 (循環器・腎臓・高血圧内科学領域)	日本腎病理協会	指定なし
シンポジウム6	慢性腎臓病と心不全/左室肥大、心筋障害	非虚血性に心筋障害、左室肥大をきたす病態のup-to-date、予防について知識を深める。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ● 専門家 (領域: 循環器・腎臓・高血圧内科学)	高血圧, 心血管系	* 後日掲載
シンポジウム7	AKIにおけるControversy 科学的な議論をしよう!	AKIの臨床において高い頻度で遭遇するものの、エビデンスが乏しく確固たる根拠のないまま対応がなされている病態・治療などが複数存在する。このようなControversyを見逃さず真剣に考えることは、AKI診療に携わる者の責務である。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ○ 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 腎臓病)	AKI	指定なし
シンポジウム8	大規模データベース解析の方向性と展開: CKD対策にどう活かすか	近年、検診 (健診)、レセプト、介護情報、種々の診療情報データなどを含み様々な方法で収集された大規模なデータベースが急速に構築されている。画期的な解析成果の量産が期待されるが必ずしも容易ではない。各データベースを用いて我々が何ができて何ができないのか。本シンポジウムではそれぞれのデータベースの特性や限界、解析の可能性と方向性を理解し、CKD関連領域の政策提言や臨床研究の展開にいかにか効果的に繋げてゆくのかが考えたい。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医)	CKD	指定なし
シンポジウム9	ポストSGLT2阻害薬時代の糖尿病性腎臓病の新規治療戦略 Diabetic Kidney Disease: New Therapeutic Strategy in the Post SGLT2 inhibitor Era	SGLT2阻害薬による糖尿病症例における腎合併症の進展抑制効果はほぼ間違いない。しかし、SGLT2阻害薬投与にても腎障害の進行は完全には阻止できない。本シンポジウムではSGLT2阻害薬の腎保護作用の機序とSGLT2阻害薬投与下における残存リスクについて最新の情報に基づき解説する。本シンポジウムを聴講することにより、腎合併症の更なる制御・克服に向けた新たな治療戦略を理解することができる。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 薬剤師、糖尿病内科医師)	CKD	指定なし
シンポジウム10	腎臓内科医が知るべきリン代謝	CKDではリンを含む骨ミネラル代謝の異常が起こり、その異常が様々な悪影響を与えるため、リンの管理が重要であることは知られており、またガイドラインにより管理についてステートメントが示されています。ただCKDにおいて、どのようにリンを管理すべきかについて未解明の部分が多々あり、ガイドラインにも限界があることはあまり知られていないように思われます。そのため本企画ではなぜリンを管理しなければいけないのか、またリンを管理する際の注意点について、議論を深めていただけたらと思います。各講演について、まず、リンの目標値がなぜこの値なのか、またこの目標値の限界についてや、リン吸着薬の使い方についての演題は必要と考えました。またリンの管理について画一的にすべきかということも議論になると思われ、その一つとしてリンの管理におけるマグネシウムの影響についても企画しました。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医)	ESRD (移植含む)	指定なし
シンポジウム11	高血圧の成因 Up date	高血圧成因研究の最新の知見について知識を深める。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ● 専門家 (領域: 循環器・腎臓・高血圧内科学)	高血圧, 心血管系	指定なし
シンポジウム12	二次性糸球体疾患の基礎と臨床	頻度の高い二次性糸球体疾患を取り上げ、基礎と臨床の両者の観点から最新の研究成果を紹介するとともに、今後の展望について解説する。本シンポジウムを聴講することにより、全身性疾患から糸球体障害をきたす病態とその治療の概要について、現状と最新の研究成果を把握できる。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ● 腎臓専門医 (指導医) ○ 専門家 (領域: 基礎研究者)	糸球体病変、間質病変	指定なし

セッション	テーマ	企画のねらい	対象者	領域	セッション言語
シンポジウム13	DKDと食事 Up to date (日本糖尿病学会合同企画)	両学会合同でシンポジウムを開催することにより、最重要課題であるDKDの食事療法に対する考え方、取り組み方の専門医間における相違を明確にし、両学会連携によるDKD対策の今後の発展につなげる。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)		指定なし
シンポジウム14	造血管疾患からみた OncoNephrology: 血液内科と腎臓内科の立場から	近年、血液疾患に伴う腎疾患が散見され、腎臓内科医がコンサルテーションを受ける機会も増えています。特にMGRSIに関してはその診断および治療適応について血液内科医との緊密な連携が必要です。本セッションは血液内科医と腎臓内科医で構成し、それぞれの立場から最新の知見をご紹介します。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	腎臓病対策委員会 (OncoNephrology Working Group)	指定なし
シンポジウム15	日本腎臓学会サポーターへの誘いー自らをより活かすためにー	日本腎臓学会サポーター制度は、自主的にJASNおよびJKAの様々な活動を支援することにより、両会のさらなる発展に寄与するとともに、サポートを通じて様々な会員と知り合うことを通じて自身の活躍の場を拡げていくことを目的としている。本シンポジウムでは多くの会員の方々が本制度を理解し、有効に活用できるできるように、サポーター制度および実際にサポート活動を複数行った演者から得られた成果とさらなる制度改善のための提言を紹介していただきます。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	企画・渉外委員会	指定なし
シンポジウム16	新しい腎性貧血治療薬としてのHIF-PHD阻害薬～これを聞けば全てが分かります～	2019年のノーベル医学・生理学賞の受賞テーマ「低酸素応答の分子機構の解明」は腎臓病との縁がたいへん深く今後、貧血治療が大きく変わると想定されます。そこで国内最先端の研究者 (受賞者のお弟子さんを含む) を招聘して、特にCKDの保存期中点を置いて現在の同分野の新しい話題を提供していただく。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医) ◎ 専門家 (領域: 基礎研究者)	基礎医学 (発生, 実験病理, 実験生理, 実験免疫)	・抄録: 日本語 ・発表スライド, 発表言語: 日本語もしくは英語
シンポジウム17	嚢胞性腎疾患 – 最近の知見に基づく診断と治療 –	さまざまな嚢胞性腎疾患の特徴を整理して確実な診断につなげること、また成人診療科と小児科それぞれの立場での嚢胞性腎疾患に対する認識を共有すること、さらに治療の現状と今後の戦略を紹介する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医) ◎ 専門家 (領域: 嚢胞性腎疾患)	小児・遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患	指定なし
シンポジウム18	移植腎長期生着に対する方策: 腎臓内科医は腎移植にどう関わるか?	腎移植領域における内科医と外科医の連携を中心に内科・外科の双方より移植腎長期成績について議論することで、移植腎長期生着に対する方策を明らかにすることを狙いとして企画しました。この分野は移植医療に明るくない腎臓専門医も参加しやすい内容であると考えています。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医) ◎ 専門家 (領域: 移植外科医)	ESRD (移植含む)	指定なし
シンポジウム19	若手のための症例を通して学ぶ腎病理の基本	少数の症例をパワーチャートを使ってじっくりと解説し、病変の読み方と鑑別診断といった基本的な腎病理を読む力を身につけることを目的とする。 CME腎病理や腎病理コンサルテーションは、診断困難などを扱いかなりレベルが高いため、その入門編に位置付けるものであり、普段、腎病理を読む機会の少ない若手医師でも十分ついていけるようなレベル設定でおこなう。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前)		指定なし
シンポジウム20	J-RBR/J-KDRレジストリーの年次報告	全学会員を対象に日本腎臓学会で取り組んでいる腎臓病レジストリーの現状、およびレジストリーを用いて行われている一次研究・二次研究の途中経過や研究成果を報告する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医) ◎ 専門医 (循環器・腎臓・高血圧内科学領域)	腎臓病レジストリー委員会 企画	指定なし
シンポジウム21	論文投稿のすずめ～いい論文を書くには	会員 (とくに若手) に編集委員会の活動と、その中核である英文誌CEN/CENCの編集方針と査読システムを周知するとともに、査読方法も意識した医学論文の書き方を学んでもらうことによって、論文の投稿を促進することを目的とする。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	編集委員会	指定なし
シンポジウム22	腎臓病を克服するー腎臓病対策の全国展開と地域での活動	腎臓学会と腎臓病の患者会との交流を促進する。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医) ◎ 専門医 (領域: すべての医療スタッフ)	多職種・患者会	指定なし
シンポジウム23	実践! 電解質道場～生理学から臨床現場への応用～	電解質異常や酸塩基平衡異常においては、十分はエビデンスが存在しているわけではないが、生理学からの理解をもとに、病態を考えながら対応していく必要がある。また、その病態を考えることが電解質異常や酸塩基平衡異常の魅力でもある。今年の電解質道場では、より病態を意識し、それを臨床現場に生かすことのための電解質異常や酸塩基平衡異常を学ぶ。	○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)		指定なし
総会長特別企画シンポジウム	腎臓病の克服を目指して2ー有効な薬剤を患者へ届けるー			総会長企画	* 後日掲載
総会長特別企画シンポジウム	腎臓病の克服を目指して1ー総力を結集する Japan Kidney Summitー			総会長企画	指定なし
シンポジウム	ASN-JSN joint symposium, ERA/EDTA-JSN joint symposium	This symposium is composed of a joint session with ASN and a joint session with ERA/EDTA. Representative nephrologists from these societies and those from JSN will give talks about their top notch science. This session will help you to catch up with the rapid advancement in nephrology.	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	国際委員会	英語セッション
シンポジウム	Asian session: APSN-JSN joint CME symposium	This is a joint session with APSN. Top nephrologists from the Asia-Pacific area give CME lectures on important topics at the bedside. The targets of this symposium are not only young nephrologists but also those who are already board-certified and are willing to update their knowledge and expertise.	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	国際委員会	英語セッション
シンポジウム	KDIGO-JSN joint symposium [Management of Anemia: Global vs Japan, Present vs Future]	This session gives you perspectives about KDIGO activities and the contribution of the JSN to these activities. We will also debate about the difference of management of anemia in CKD between Japan and other countries.	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	国際委員会	英語セッション
シンポジウム		男女共同委員会ができて12年たち、発展的にダイバーシティ推進委員会と名称変更し所管もあり委員会となります。委員会について会員に周知するとともに、委員会の今後の活動を知っていただくためのシンポジウムにしたいと思います。		男女共同参画委員会	指定なし
特別企画	Universal health care of kidney disease	This is a special session as the presidents of the international nephrology societies and the presidents of the national nephrology societies in Asia gather together at this JSN meeting. They will discuss about universal health care of kidney disease, making the global strategy to combat with kidney disease clear. This is the "must-attend" session of the JSN meetings through decades.	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降 (専門医試験受験前) ◎ 腎臓専門医 (指導医)	国際委員会	英語セッション

セッション	テーマ	企画のねらい	対象者	領域	セッション言語
ワークショップ1	公的研究の概要	1. 目的・対象：JNSN会員、企業関係者がAMED腎臓関連事業の全貌を把握する。 2. 目的・対象：AMED事業の全体像、腎疾患実用化事業の動向説明。			指定なし
ワークショップ2	実験ごとはじめ－you can do it now : IT それが見えたら研究しよう－	これまで実験を全くやってこなかった人向けの実験開始に必要なhow toを包括的に扱う。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前）	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）	指定なし
ワークショップ3	留学ごとはじめ	研究を始めた若い人たちに、講演と質疑応答を通じて留学する価値とその活用法を理解してもらう。	学生、研修医、専攻医、大学院生	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）	指定なし
ワークショップ4	水電解質領域および尿細管機能の基礎研究：最近の進歩と臨床へのつながり	尿細管機能や水電解質ハンドリングに関する最近の知見とその臨床的意義について学ぶ。	◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝	指定なし
ワークショップ5	腎・泌尿器疾患と遺伝カウンセリング－主治医にできることと専門家に任せることの境界を知ろう－	腎臓病が領域でも遺伝子解析が広く行われるようになった。遺伝子解析を施行する際にはその前後で遺伝カウンセリングを行なうことが推奨されているが、実際に腎臓病に特化した遺伝カウンセリングを施行できる施設は少ない。本シンポジウムで腎臓病領域の遺伝カウンセリングについて概説し、実際の遺伝カウンセリング風景を体験する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患	指定なし
ワークショップ6	よく分からないCKD/DKD栄養指導実践：Pros and Cons	CKD治療における食事療法にはよく分からない点が多い。CKD患者に蛋白制限は有用なのか、DKD患者にローカーボダイエットは有効なのか。蛋白や炭水化物の理想的な摂取量、摂取方法についての理論やエビデンスを理解し、明日の患者指導に活用することを旨とする。さらにDKD患者の血糖コントロールの目標値についても理解を深める。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：栄養士、看護師）	CKD	指定なし
ワークショップ7	腎生検病理診断コンサルテーション・アンド・レビュー（難解なコンサルテーション症例をみんなで考える）	日常の腎生検症例の中で結論が出ていない診断困難症例を、会員から募集し、腎臓を専門とする病理専門医が解析して病理診断を行う。症例の特徴と問題点について会員とともに検討する。集まった症例をレビューし臨床病理的メッセージを発信する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門医（循環器・腎臓、高血圧内科学領域）	腎臓病レジストリー委員会	指定なし
ワークショップ8	腎臓病療養指導士の活動の実際	腎臓病療養指導士が誕生してから1年以上が経過し、各地域で独自の取り組みが始まっている。しかし、具体的な活動についてまだ模索が続いている段階である。本企画では、各職種より、具体的な活動のノウハウや好事例を地域や所属施設の形態別に示すことにより、療養士活動を促進することを旨とする。	○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：すべての医療スタッフ）	多職種・患者会	指定なし
ワークショップ9	Conservative Kidney Managementを含めた腎代替療法選択	透析導入の見合わせに関する提言が更新され、新たな選択肢として保存的腎臓療法(Conservative Kidney Management)が注目されている。また腎代替療法選択ガイドが5学会の合同事業として作成された。この時点でCKMを含めた包括的な腎代替療法選択に関するワークショップを開催することは意義あるものと考ええる。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：訪問・在宅診療、緩和ケア）		指定なし
教育講演1	リンの制御機構	リン代謝の恒常性維持のための体内ネットワークの最新の知見をご教授頂く。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝	指定なし
教育講演2	腎臓内科医の知っておくべき尿路結石症－専門家の話を聞いて苦手克服しよう－	腎臓内科医の知っておくべき尿路結石に関する最新の知識を講演頂く。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門医（領域：泌尿器科）	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患	指定なし
教育講演3	在宅医療としての腎代替療法				指定なし
教育講演4	研究倫理・医療倫理に関する研修会	会員に資する最新の研究倫理・医療倫理の情報を共有する。	参加者全員	倫理委員会	指定なし
教育講演5	学び続ける腎臓医	腎臓医が学び続けるために必要な知的生産術、論文の読み方を共有することを目的とする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前）	企画・渉外委員会+編集委員会	指定なし
教育講演6	AI				指定なし
教育講演7	Evidence Practice Gap				指定なし
教育講演8	腎障害のある患者さんに対する化学療法	近年、がん治療は目覚ましい発達をとげていますが、それに伴い多彩な腎障害が発生しています。本講演ではその最新の知見についてご紹介いただきます。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	腎臓病対策委員会 (OncoNephrology Working Group)	指定なし
教育講演9	内科医として知るべき尿路腫瘍				指定なし
理事長講演					指定なし
大島賞受賞講演					英語セッション
CSA (Clinical Scientist Award) 受賞講演					英語セッション